

学校だより



せんだん

学校教育目標 よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる

日田市立高瀬小学校

第15号

令和8(2026)年6月25日

文責：校長 山口 健

高瀬小HP



学びをひらいた6月

6月は、家庭や地域、自然、そして社会で働く人との関わりの中で、子どもたちの学びが広がった1か月となりました。春のオープンスクールや田植え、人権集会、「ようこそ先輩」などを通して、子どもたちは学校の中だけでは得られない学びに出会いました。人と関わり、体験を通して考える中で、一人一人の学びがひらいていく姿が見られた6月となりました。

学びを家庭とともに

— 6月12日 春のオープンスクール —

当日は、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただき、各学級の授業や子どもたちの学校生活の様子をご参観いただきました。



子どもたちは、少し緊張しながらも、いつも以上に張り切って学習に向かう姿を見せていました。友だちの考えを聞いたり、自分の考えを発表したりする様子から、4月から積み重ねてきた学びの姿を感じていただけたのではないかと思います。

また、1年生と2年生では学年委員さんの企画で親子レクリエーションも行われました。1年生は親子で楽しく体を動かし、2年生はプラバンづくりに取り組みました。親子で笑顔を交わしながら活動する姿が見られ、温かな時間となりました。

学校での子どもたちの姿を、ご家庭と共有できることは大変ありがたいことです。



土にふれ、米づくりを学ぶ

— 5年生の田植え体験 —

6月12日の春のオープンスクールに合わせて、5年生が総合的な学習の時間に



田植えを行いました。この活動に向けて、育友会農林部をはじめ、多くの皆様に学校田の準備を進めていただきました。代かきや雨の中での準備など、子どもたちが体験するまでには、多くの方々の支えがあります。

当日は、田んぼに入り、苗を一つ一つ丁寧に植えていきました。足を取られながらも、土の感触を味わい、友だちと声をかけ合いながら活動する姿が見られました。

土や水に直接ふれることで、子どもたちは自然の感触を全身で感じる事ができました。米づくりの大変さや、食べ物が育つまでの過程について、実感を伴って学ぶ貴重な時間となりました。

収穫までには、まだ多くの時間がかかります。これからの生長を見守りながら、米づくりへの理解をさらに深めていきます。

人を大切にする学校へ

— 人権集会とホウホウの木 —

6月1日、第1回人権集会を行いました。学校は、一人一人が安心して過ごせる場所であればなりません。そのためには、自分の思いだけでなく、友だちの気持ちにも目を向けることが大切です。

集会では、互いのよさを認め合うことや、相手を大切にする言葉や行動について考えました。子どもたちは、自分たちの学校生活を振り

返りながら、よりよい関わり方について考える時間をもちました。

また、5月から始まった「ホウホウレター」の取組も、少しずつ広がっています。友だちのよいところやがんばっている姿を見つけて伝え合うメッセージが、「ホウホウの木」の葉となって増えてきました。

一人ひとりのよさを大切にすることは、今年度の児童会テーマともつながります。温かな言葉が学校中に広がり、誰もが安心して過ごせる高瀬小学校になっていくことを願っています。



空の安全を支える仕事に学ぶ

— 「ようこそ先輩」キャリア教育講演会 —

6月22日、5・6年生を対象に、「ようこそ先輩」キャリア教育講演会を行いました。



講師としてお

迎えしたのは、本校の卒業生で、現在ANAエンジンテクニクス株式会社に勤務されている増田駿さん(大宮町)です。増田さんは、飛行機のエンジン整備の仕事に携わっています。

講演では、スライドや実物の部品を使いながら、会社のことや仕事の内容について分かりやすくお話いただきました。一つのエンジンを整備するのに短くて1か月、長いときは1年もの時間がかかることを知り、子どもたちは航空機の安全を支える仕事の奥深さに興味をもって話を聞いていました。

飛行機の安全を支える仕事には、細かなところまで見る力、仲間と協力する力、道具を大切に扱う心、そして責任感が必要であることを教えていただきました。また、多くのお客様の命を預かる仕事だからこそ、「これくらいいいや」という妥協は許されないという言葉に、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

最後に、「夢中になれるものを見つけよう」「今の学びを大切にしよう」というメッセージ

をいただきました。高瀬小学校の卒業生が、社会の中で責任をもち、多くの人の安全と安心を支えている姿にふれることは、子どもたちにとって大きな学びとなりました。

学校林を守り受け継ぐ

— 6月21日 第1回下草刈り作業 —

育友会農林部の皆様のお世話により、第1回下草刈り作業を実施しました。当日は、山林顧問



の皆様をはじめ、保護者の皆様にもご参加いただき、美濃の学校林での下草刈り、農業倉庫の片づけ、グラウンドの草取り等にご協力いただきました。朝早くからの作業により、学校林や校内の環境が整えられました。

学校林は、地域や保護者の皆様によって大切に守り受け継がれてきた、高瀬小学校の大切な財産です。毎年手を入れ、見守り続けることで、次の世代へ受け継がれていきます。子どもたちが学校林を直接見る機会は多くありませんが、こうした支えの中で、学校の環境や歴史が守られています。先人の思いを受け継ぎ、未来へつなぐ取組でもあります。

ご多用の中、作業にご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

未来へ向けて

6月は、家庭、地域、自然、そして社会で働く人とのつながりの中で、子どもたちの学びが広がった1か月でした。体験を通して感じたこと、人の話を聞いて考えたこと、友だちのよさに気づいたこと。その一つ一つが、これからの学びにつながっていきます。

1学期も残すところ約1か月となりました。一日一日の学びを大切にしながら、子どもたちが安心して成長できるよう、保護者・地域の皆様とともに教育活動を進めてまいります。